

週寫
報眞

編輯部報情閣内
ンセ十・號一冊第 日四十月九

滿洲建設の巨歩



奉公が笑顔で出来る
貯蓄債券



支那事變 貯蓄債券

賣出期間
十月五日
二十日迄

四百五金増割等一 四百五枚一
行銀業勸本日 省 藏 太



ここに見える滿洲國の新しい成長力、この荒涼とした風景に、けふの大同大街が現出した後をたづねやう。

國庫設計事務所と、大同大街の建設は、は走り、起すは、その互を離した。

先づ、建築上、建築費が底とされ、鐵道は四通八達し、建設の基礎が出来た。五年間の大同大街。

かくして、わが五、六年の間に、大同大街は素晴らしい成長を遂げた。第一、完成も近い。この街。



伸びる樂土最近の滿洲
對滿事務局

國民のすべての眼が漢口附近に集中されてゐる今、一時滿洲國境張鼓峰事件に不氣味な緊張がたよつたが、國內に少しの不安も動搖もなく、聖戰の軍を進めつゝあるのは、一つには滿洲國の毅然たる態度と毅然たる實力に負つてゐる。

滿洲事變後六ヶ年、あらゆる努力の結果、滿洲國は今や眞に王道樂土、世界的滿洲國になりつゝある。

治安の確保

事變當初匪賊は三十六萬を超えといはれたが現在ではもう一萬以下に減少して

了つた。舊式匪賊はすっかりその影をひそめ、共匪匪だけが三三省や東遼道山林地帯に蠢動してゐるにすぎず以前は、あつた鐵道の被害等は全くその跡を断つに至つた。これは實に、關東軍の派ぐましい討伐の努力と、滿洲國軍及び地方官憲制度の整備と、鐵路愛護自警村の充實とによるものに他ならない。したがつて滿洲國に關する治安上の不安については從來の考へを一掃する必要がある。

産業の勃興

治安の確保に伴ひ資源の開発は促進された。調査が進めば進むほど、滿洲は重要な資源の豊かなことが判つてきた。

滿洲國政府を中心とし、關東軍、滿鐵等の研究に基き、昭和十二年（康德四年）、産業開發五ヶ年計畫が生れた。然し國々第一

日本軍司令部官布告
大日本駐東軍司令部官 木庄 宣
昭和六年九月十八日

昭和六年九月十八日、朝鮮事變に際して、滿洲國全土に激戰の砲火が炸裂した。滿洲事變勃發紀念の日が、支那事變後二年の秋と共に感慨よく迎つてきた。

滿洲事變勃發と同時に、滿洲國住民に向つて、益々帝國の信譽を顯明し治安を確保した。關東軍本庄司令官の布告。



- 1 五年前の茫漠たる旗野に出現した、國都新京の盛衰。市公署屋上より西北方を望む。
- 2 忠霊塔
- 3 滿洲中央銀行
- 4 滿洲電信電話株式會社
- 5 東洋拓殖株式會社
- 6 康徳會館
- 7 三井百貨店
- 8 東本願寺別院
- 9 東京海上火災保險株式會社



〈新京を築く〉



工事中の大岡廣場から大同大街を望む(上) 建設途上の大同廣場附近(中) 完成された大同廣場。(下)



皇國日本の生命線を確保し、五族協和の干道業士建設のため、壯烈、滿洲事變の華と放つた皇軍將士の英霊を祀る忠霊塔は毅然として天空に誇り立ち伸びる滿洲の行手を見まもつてゐる。われわれは、大陸に眠る偉大な前衛將士の犠牲を無にしてはならぬ。

秋色の雲が大陸の秋を彩る空の下、傳統の束縛の無い、ひたすら未来を築く生活が、飛躍と誇り溢れてゐる。 北安路の市営住宅。

年度中に支那事變の勃發をはじめ新しい状態の變化は、その計畫の積極的擴充を必要とするに至つたので、第二年度以降に對し、第一年度の實績を參照し、全面的に擴大修正を行つた。(記事末の表參照)この修正計畫は主として工業部門の増産を目ざすものであるが、農産部門の増産に關しても、農家經濟の實況を考慮して、全面的に生産の擴充を圖り、特需農産物の取得のみに偏しないやうに留意されてゐる。

現在の成績を見ると、このうち鐵、石炭の増産計畫は豫期以上の成績を示し、その他鐵、農産、林産、畜産等各部門にわたり目麗ましい躍進を示してゐる。

したがつて貿易的發展も著しいものがあるが、建設にもなふ輸入が多い關係上入超の傾きがあるのは當然である。然し之も對獨、對伊の協定によつて幾分緩和され、滿洲國商品は世界市場に熾々と登場してきてゐる。

交通の整備

産業の開發と切つても切れないのは交通である。すでに、鐵道は一萬軒、自動車路は七千軒、國道は三萬軒、滿洲帝國國境前に比べるると全く隔世の感がある。

同時に、有線無線の通信網の改善、放送事業の普及、航空網の整備に近代文明國家としての形勢はすつかりそなはつた。

移民の成功

人口問題から見ても、日本人に向つて大きな手をひろげ、食べてゆく所、生きてゆく所を提供しようといふ心からわれわれ日本人を歓迎してくれるのは世界にたいし滿洲國一つあるのみである。昭和七年第一次移民を送つて以來、現在では滿洲國拓殖青少年義勇軍及び第七次移民までが彼らの移民村を建設する爲血みどろの活動をつづけ、第二の故郷・安住の地を見出してゐる。(優良な土地が約三萬町歩開放されてゐるが、その中既墾地はまだ千二百萬町歩にすぎない。)こゝに來るまでには第一次、第二次移民以來艱難苦闘を経て若干の失敗の苦杯を嘗めながらも、日本農民

の不屈の精神は遂に國家の運命をも決するこの大試練、大宿題を見ごと克服、解決しつゝあるのである。都會の五族協和でなく、土に根ざした五族協和が生れてゐるのだ。

☆

滿洲國は國家組織を改善し、地方行政を刷新し、又金融を統制し、財政を確立し、更に昭和十二年十二月には治外法權の全面的撤廢と滿洲國地方行政の移讓完了によつて獨立國家としての主權はこゝに全く完整なものとなつた。

そして、滿洲國の治安は變ひ、産業がおこれば、そこには當然文化が榮えなければならぬ。こゝにおいてはじめて、眞の日滿不可分・一徳一心の實はあけられる。東洋の新しい明るい秩序を求めて日本は今や東亞の盟主として全力をあげ戦つてゐるが、この際、日滿兩國は愈々提携協力して東亞の和平と福祉増進に努力しなければならぬのである。

修正五箇年計畫開發目標

品名	修正前開發目標	修正後開發目標
鐵	約 五〇〇萬噸	約 一、〇〇〇萬噸
石炭	約 三、〇〇〇萬噸	約 三、〇〇〇萬噸
電力	約 一、〇〇〇萬瓩	約 一、〇〇〇萬瓩
農産	約 一、〇〇〇萬噸	約 一、〇〇〇萬噸
林産	約 一、〇〇〇萬噸	約 一、〇〇〇萬噸
畜産	約 一、〇〇〇萬噸	約 一、〇〇〇萬噸
工業	約 一、〇〇〇萬噸	約 一、〇〇〇萬噸
交通	約 一、〇〇〇萬噸	約 一、〇〇〇萬噸
教育	約 一、〇〇〇萬噸	約 一、〇〇〇萬噸
衛生	約 一、〇〇〇萬噸	約 一、〇〇〇萬噸
福利	約 一、〇〇〇萬噸	約 一、〇〇〇萬噸
その他	約 一、〇〇〇萬噸	約 一、〇〇〇萬噸

(注) 農産物の開發目標は康徳五年度分(括弧内)は康徳八年度分を示す。



新装の
満洲國軍

満洲國軍は現在約八萬、舊軍裝時代の親分子分式の私兵制度の弊風を逐次清算して今や規律あり統一ある軍隊となるに至つた。全軍を數軍管區に分つて配置し、尙直轄軍として靖安軍等がある。其の外に江上部隊(海軍)があつて松花江、黒龍江及びウスリー江等の警備に當つてゐる。又時局に即應して高射砲隊、飛行隊を備へる等訓練に於て裝備に於て漸次良好となりつゝある。

起床ラッパ。
禁衛隊兵營の一日の生活が始まる。

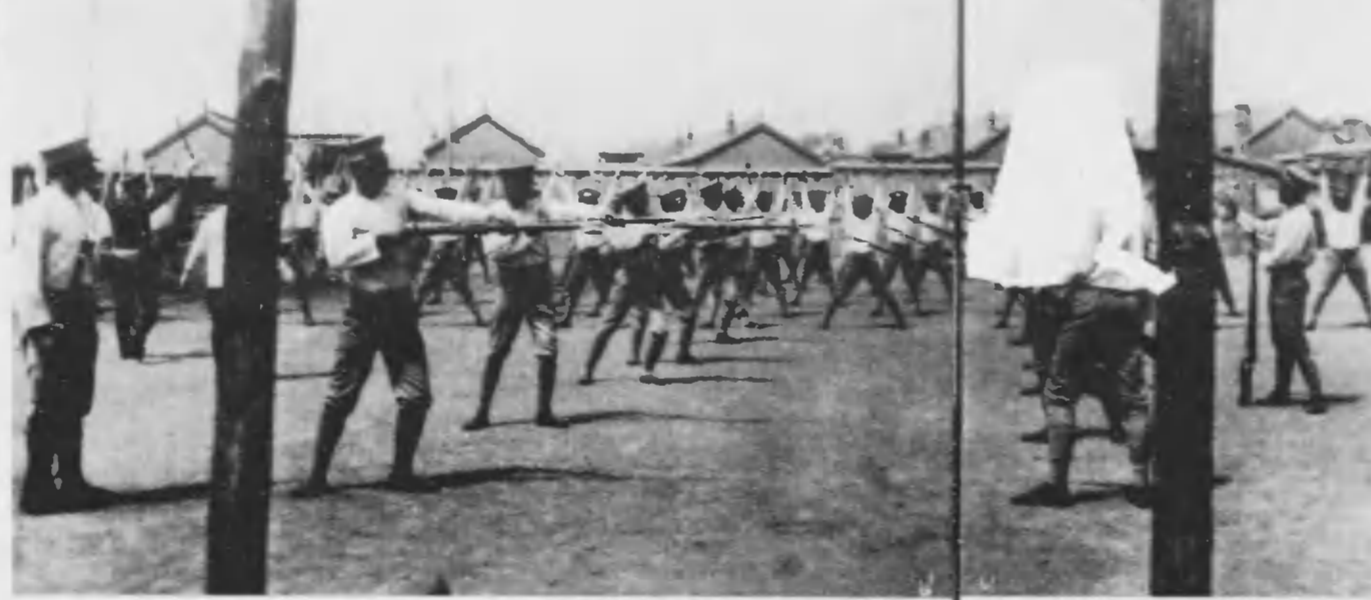
壕をおどり越えて突撃にうつる。國軍歩兵部隊の突撃訓練。



嵐爽と白馬にむち打つ、満洲國興安騎兵隊の活躍ぶり。

果しなくひろがる高梁をわけて進軍する國軍装甲車の威容。

新京南嶺禁煙で演習中の國軍砲兵隊。



鉄創術に新らしい満洲現をみがく。

満洲國江防艦隊の偽容。ハルビン附近、松花江大橋橋がはるか後にかいつてゐる。

撮影
満洲國通信社

江上部隊の射撃練習。





⇨ 選ばれた日本青年のたくましさ、たのもしさ。不屈の意志と、燃える理想をみなぎらせ、「千布摩探」に象へるこの身体が、明日の満洲国をしっかりと築くのだ。



大日本帝國は、日本の大學専門學校卒業生の滿洲國官史養成學府で、日本の選ばれた青年學徒は、滿洲國のよき指導者となるべく、研鑽を積んでゐる。



滿洲國通信社

⇩ いつでも一軍の指揮官と入れ替はるやう、軍事教練も隨處に考へぬ訓練まで學ぶくつと脱む退きしにも、無敵軍軍さながらのおもかけがある。

⇧ 強い肉體は、強い精神をつくる。校庭にならんで、たくましい上半身も誇らかに、力一杯の體操。



⇨ 大陸滿洲國では、馬が日常生活に深く入りこんでゐる。驛馬に乗つて、馬術を習ふ、大同學院學生達。



年 青 族 五 五 擔 を 來 未



滿洲國通信社

大陸の學園にふさはしく、廣袤六十五萬坪の大野原に農墾政策を實踐に依つて學ぶべく、馬を御し、銃を押す。ここに耕す一畝のうねは、明日の滿洲農民を養ふ三千萬町歩の光となるのだ。



自習室に机を並べて、亞細亞建設の理論を究明する日露學生。亞細亞に生きる民族の理想は、かうして日常生活の隅々まで美しく輝かせる。紀をひらく力は、かくたく輪はれてゆく。

六時二十分、五族の選ばれた青年が、心を溶け合はせ集團生活を行ふ。榮舎の静寂は、はるか皇國日本を拜すと共に滿洲國皇帝に忠誠を誓ひ、けふの一日に努力をうちこむ精神をしっかりと胸にしみこませる。

五族協和、王道榮上の新國家、わが滿洲國の未來をになつて立つ、日(内地)鮮(蒙)滿、蒙、白蒙の青年四十一名が、その高邁な知性と情熱を傾けて學ぶ建國大學。建國精神は、ここに、更に新しき光を放ち、大亞細亞建設の指導者は、ここから眞立つ



五時半、朝の冷気をふるはして、靈頭のうららめしき起床の大大鼓は、學徒の夢を覺ます。窓に射す黎明の光、朝は、學徒の胸をおどらす未來の象徴だ。

創造に學ぶ日本精神、滿蒙學徒も、白蒙學徒も、ぐつと竹刀を握りしめ、氣合も鋭く、道場一杯に足踏み鳴らし、心身を練る。



白米六分に麥四分の軍械式食事に培はれる新興滿洲の推進力。かうして明日に立つ、若き人の肉體は強く、魂は成長してゆく。滿洲國建設の頭腦、青年大陸の前進、萬歳！





拓く大陸日本

編影
及 滿洲
・ 國通信社
・ 廣澤章治



□ 口滿數高くひるがへるところ、産業五ヶ年計書の二年目を成功裡にたゞかひなく力が、雲のごとく湧き上つ。五族協和の先遣部隊、わが移民團に、産業開發の榮冠をかかげ。

□ 青春を民族發展のためかひに掛け、骨を滿蒙の土に埋めよう、と悲壯な決意をもつて故國を去つた滿蒙開拓青少年義勇隊は、北滿の曠野にその若々しい力を根張りうちこんでゐる。内地で訓練した宿舍建築中の青少年移民達。

□ 三江省輝川縣水豐鎮に入植した第一次移民團築村が、血の滲む努力をもつて苦闘の建設史を編み、滿洲移民の悲願論を征服したその功績は大きく、新日本の黎明期を燦然と飾つてゐる。

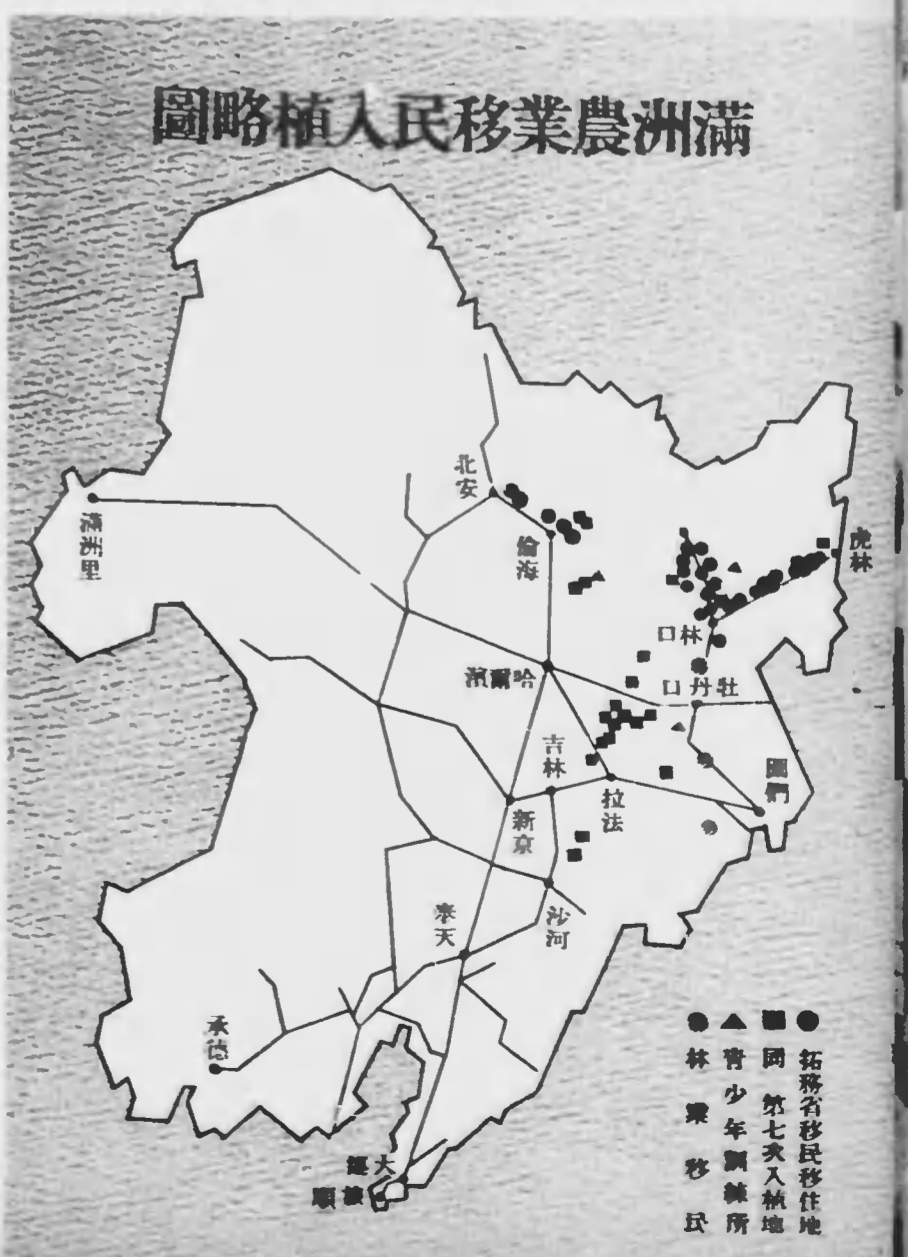
□ はてしなく擴がる原野にトラクター、鑿岩機は縱横に駆けめぐり、既に千二百餘萬町歩の耕地は開墾された。行け、滿洲へ！大陸の沃野は、行きづまつた日本の農村に、新時代の大きな手をひろげてゐる。



□ 放牧地に草をはむ種羊の群、はるか、移民村は丘の起伏の中にしづみ、地平遠く、然れ秋の雲は走る。今大陸は、われらの憧れを裏切らぬ。内地の農民諸君、大陸日本の前衛となつて、滿洲へ行かう！

□ 匪賊とたゞかひ、落伍者が次々と出た困難な時期を、ぐつと齒を食ひしげつて稼へてきた築村、今先驅者の忍苦が大きな實を結びつつある耕地の彼方に、けふも、日輪は昇り、大陸のさかんなる成長を呼ぶ。

く 續へ頁次





撮影
及・滿洲國通信社
飯澤章治



北滿の多角経営には、從來から相當の隆盛に行はれてきたが、最近の移住は、遠からず移民の名目となつて、滿蒙を旅ゆく人々のなつかしい土産となるに違ひない。

匪賊の襲撃に抗戦しながら、農機を建て、築地につくしがたい苦難時代を経て、相當の落伍者まで出した第二次移民も、先驅者の勞苦も、見事な成果を以て酬ひられ、すくなく大陸型に伸び育つた第二世も頼もしく王道樂土を願歌しつゝある。



未だ千萬町歩の沃野が、手を擧げて待つてゐる滿洲の大地。第一次、二次移民時代の苦しみ、悩みは、先驅者の古い昔語りとして残され、今、農村文化の中心に、移民村を中心として、營々と建設されつつある。營々と建設されつつある。營々と建設されつつある。營々と建設されつつある。

農民に與へられた最も悪い條件の中で生きてゐるやうな、東北の隅津から入植した移民達は、滿洲に來て初めて、生産者の歡喜をしみじみと味はつたといふ。長い忍従と困苦の暗い蔭をぬぐひ去つて、元氣一杯に働く、津輕の林業移民達。

滿洲國の正しい指導、じつくりと腰を下した建設の使命は、移民第二世の肩にかかつてゐる。移民村には、立派な小学校が建てられ、大陸の子供達は、懸命に學び、故國にも胸けと聲をそらへて歌ふ。これら一億万人の歌「愛國行進曲」。



入植當時、移民をなやましめるには、衛生設備、精神的な方面では、屯墾病で悩んだ。然し、今では屯墾病は、後進文化施設による安定、豊富な文化施設によりつづつある。



年二第畫計

4 昭和製鋼所の製鋼工場
 5 農産物の首位を占める大豆、年に輸出三億圓に近く、滿洲國經濟に大きい役割を演じてゐる。
 6 撫順炭礦の露天採掘。
 7 刈りとつた羊毛の山。
 8 旅順双島嶼の鹽田。
 9 綿花の荷造、大連近郊。
 10 高粱の牧種（青島綏沿線）。
 11 大豆、高粱につく滿洲の重要農産物。

社 會 式 株 式 公 司 滿 洲 鐵 道
 社 信 通 郵 電 滿 洲

年々五業産

工業國であるのに重要な物資が乏しい日本と、石炭、鐵、銅、ガソリンといふ貴重な物資を豊富に提供する滿洲國の間は、經濟生活の點から見ても決して不可分關係にあり、互力なプロダクトとなつて互らに補ひ合つてゆかなければならぬ。調査に莫大な金を費すのみでとかく、生産されがちな大豆、高粱、羊毛、綿花、その豊富さがやうやく判り、今では修正第五ヶ年計畫の下に、農と生業の完備と手置を合せて新しい開發の道を出してゐるのである。同時に又、鐵道も産業開發、國防強化の鍵に當つて鐵道と共に急速のびてゆく。



譜画謠歌民

定 撥 局 送 放

二
ごらんよ
坊やあ
の山



三
ごらんよ
坊やあ
の山

三
ごらんよ
坊やあ
の山

一
ごらんよ
坊やあ
の山



母の歌

坂谷節子作詞
橋本四作作曲

海の彼方



佛陸軍の大演習

フランス陸軍は八月初旬、アルプス山麓に大キャンプ陣を布いて合宿、緊張する歐洲政局裡に大演習を展開した。寫眞はコル・デュ・ガリビエに空軍行進する歩兵部隊。



ボイランドに農民戦線の結成

農家経済も漸らしい時代の波に順應しなければならぬと、ボイランドの農村青年たちは今頃によびかけて、強固な組合戦線を結成、この程首領ワルソオで開結式が舉行された。

わが第二世歐米水上競技に活躍
水泳對抗水上競技大会は、米國對全歐洲戦に先立つて八月十五日ハノイで開行された。米國代表は、米國の一人として活躍した若い少年こそ、ハワイ生れのわが第二世歐米選手一君(一六)で、水泳日本を代表して今年、日本の如く米國水泳界に現れ、米國のナンバワンと肩を並べて歐洲遠征軍に加はつたものである。右が廣瀬君。



フランスのぶだう酒まつり

「要より先にぶだうの種子を植えろ」といふギリシヤの唄そのまゝ、フランスのアヴィニヨンの唄は盛大に同國産業の華、ぶだう酒の祝祭が催され、アルベル・ルブラン大統領も臨席した。寫眞はぶだう酒だるの凱旋門を通過するル大統領。

米新鋭駆逐艦の進水式

太平、大西兩洋の彼方にたぐらぬ風雲を脱んで、大艦隊編成に夢中のアメリカにまた一つ新鋭を誇る駆逐艦「フレッド・マクドナルド」(一五〇〇トン)がワイラデルファイアの海軍工廠で進水した。



同業通信社



米新鋭駆逐艦の進水式
國際陸上競技界本年度の最大行事である第一回米獨對抗陸上競技大会は八月十三、四兩日ベルリンのオリムピック競技場で華々しく舉行された。世界の二大陸上競技國の對戦として十萬の觀衆がオリムピックスタジアムを埋め、ヒットラー總統も臨席して、競技の途中特に一場の演習を行つた。三段跳に十四米六一の記録で優勝したユトクエツク(獨)選手。

RIKEN VITAMIN

朝夕の一球
體位向上
抵抗力増強
の基礎!

世界十一ヶ國政府製法特許
帝國學士院日本化學會受賞



ビタミンAD含量市販第一位

理化學研究所創製の純粋な
ビタミンAとDの複合剤!
良消化性の植物油溶液中に
安定せしめたもので、服用
後速かに胃中に消化吸収さ
れる。亦プロビエール球六
りによつて腸胃し易いビ
タミンは完全に保護され吞
み易いことも特徴です。

理研+ ヴィタミンM

読者の
カメラ
の
力作



曉の奉仕
東京府東村山早起會
私共の早起會では八
月一日から二十日まで
體位向上武運長久祈願
の早起きを進行しまし
たが、今後毎月一日十
五日には村の八坂神社
に参集、早軍の武運長
久を祈願することを決
議しました。

健康黒ン坊大會
宮崎市 落合健義
秋後の夏に敵へる少
年少女がその健康色を
競ふ一黒ン坊大會は八
月十四日赤島海岸で
賑やかに催された。参
加兒童は男子百二十八
名、女子百五名、團體
育主事以下慎重な審査
の結果、男女各十名が
黒ン坊賞を獲得した。



颯風禍に勤勞奉仕
東京市豊島區
藤井 清
九月一日、二十日
の厄日に際向から東京
十幾年振りの颯風は二
十路街五萬木を横
倒し、公園の樹木を
滅茶々にしてしまつ
た。東京市役所では
三日の十曜と四日の日
曜、職員五百名が日比
谷公園に集會、次々と
倒れた樹を起し、吹き
とんだ枝葉を掃いて、
われらの公園の復興に
奮い汗を流した。



寫眞募集規定
本誌は「寫眞週報」の一助にも
なすべく、出来る限り紙面を開放し、諸君
のカメラを動かし、優秀な技術を持つ
てゐる。題材は内外映發、國家の繁
榮に關するものならは何でもよい。
例へば街にも田舎にも、或は工場、
家庭、學校など、所々に攝る。秋後の
颯風、國民精神總動員風景、或は手
節と昔の面白く撮合せなすはさう
でせう。一枚の寫眞でも數枚の組
の寫眞でもよく、締切期日は決定せ
ず、イヌはキビシキ以上、掲載
の分には海運又は記念品を贈呈し、
機嫌は當部に照らすものとす。
應募作品は一切返却せず。
内閣情報部



寫眞週報(兼轉載)
昭和十三年九月十四日印刷
發行所 内閣情報部
印刷所 大日本印刷株式會社
東京市牛久保區
加賀町一ノ二番地

所 込 申	價 定
寫眞週報配送	一 部 十
一年分未滿配送御希望	一 部 十
方は一部十錢の割合を以	
前金を添へ御申込み下さ	

寫眞週報配送
東京市豊島區
加賀町一ノ二番地
電話四六八〇
郵政省認可第三八〇〇
全國各地官報販賣所
東都書籍株式會社
最寄書店・驛賣所
各地新聞販賣所
寫眞材料店

初秋の陽射しに滿洲國五
色旗がはためく東京旗布の
滿洲國大使館では、今日も、
成長してゆく若くはこの國家
の外交の歩みが進められて
余念なし。
颯風すき去つた落葉の庭
に折から散歩する、祝大使の
お城さん、守衛さん(十八)
と守衛さん(六六)。
撮影 内閣情報部

輸出振興に

物資充足に

重要な役割を演ずる



東亞交通の第一線に立つ

近海郵船

寫眞週報 昭和十三年二月十二日 第三種郵便物認可 昭和十三年九月十四日發行 (每週一回水曜日發行) 第百號

(本書の大きさは規定規格A4・「週報」倍判)